



2011年 5月1日

みなさん、こんにちは。五月に入り、さわやかな気候になる…かと思っていたら、今日の明石は小雨の降るお天気です。連休に入りましたが、みなさん いかがお過ごしでしょうか。

● ロビーコンサート&ピアノのお披露目



1階ロビーにて、コンサートの様子

「昭和の日」の先月29日(金・祝)、藤林寿子さんのピアノと山中みつるさんの歌声(ソプラノ)をお楽しみいただくロビーコンサートを開催しました。

コンサートは、リスト作曲《愛の夢》のピアノソロから始まり、その後、藤林さんのMCで今回使用したピアノは昨年度、当館に寄贈され、今回が初披露であることが紹介されました。続いて3曲を演奏し、江間章子作詞・團伊久磨作曲《花の街》からはソプラノ歌手の山中みつるさんとの協演です。

《五月の歌》、《野ばら》、そして最後の曲《埴生の宿》。《埴生の宿》は、東日本大震災で被災した人々ができるだけ早くふるさとに帰れる日が来ることを願って演奏されました。

アンコール曲《ふるさと》も同様に、震災復興への祈りを込めて、会場の皆さんにも一緒に歌っていただきました。

報道を見ていると、無力感にさいなまれることがあります。会場には力強い歌声が響き渡り、震災に対して「何かしたい」という皆さんの気持ちが表現されているように感じられました。

● 『親鸞展』、1万人目

春季特別企画展『親鸞展』の総来館者数が、30日(土)午後、のべ1万人を突破しました！

記念すべき1万人目の入場者となったのは、垂水区在住の神吉さん親子でした。1階ロビーで、館長から記念品と図録を受け取って、小学生の有希君はにっこりとはにかんだ笑顔を見せてくれました。

有希君の本命は、常設展のアカシゾウだったようですが、ちょっと難しいかもしれないけれど、お母さんと一緒に『親鸞展』も鑑賞して、図録も読んでみて下さいね。

『親鸞展』は5月8日(日)まで。会期末とゴールデンウィークが重なっているため、会場だけでなく駐車場も混雑が予想されます。ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さいね。



『親鸞展』バナーの前で